

特秘第一八一八號

昭和十二年七月十七日

靜岡縣知事 飯沼 一省



内務大臣 馬場 鐵一 殿

社會局長官 殿

各庁府縣長官 殿

持越金山労働争議解決後ノ状況ニ関スル件

第一報

要旨

一 争議団側ニ於テ八月十日午前十時所轄警察署ニ於テ社会ヨリ退職手当金並和解費トシテ十三万五千圓ヲ受領シ翌十日班長會議ヲ開催シ分配方法ニ関シ限議ヲ遂ケタリ

二 一般争議団員ハ七月十日午前七時より本部及他日村林ノ監督下ニ於テト地均ニ事作業ヲ開始シタルハ今社側従業員ハ之ニ反対シ内藤労働主任ニ嘆願書ヲ提出善処方陳懐ヲナタリ

三 今社側内藤労働主任ハ談作業ノ従業員ニ及ボス影響ヲ考慮シ改善ニト合意中止ノ申合ヲ支ト共ニ上京中ノ鳥井所長ニ報告ノ為上ノ旨ニ付米上京ヤリ

管下田方郡上狩野村持越所並中外鉱業株式會社持越鉱業所ニ於ケル労働争議ハ七月七日内滿解決ヲ遂ケタル如キ後ノ状況左記ノ通ニ有之

右及申(通)報候也

記

一 争議団側

(一) 争議団側ニ於テハ既報ノ通り七月十日午前十時所轄警察署ニ於テ今社側八名争議団側十七名